

金沢大学で雇用する特別研究員－PD等の育成方針

育成方針

国内外の教育研究機関や産業界の第一線で活躍し得る幅広い知識やスキル、能力を高める場を提供し、次世代を担う研究人材を育成する。

その育成・支援の過程においては、金沢大学が有する卓越した研究分野や融合研究、実証研究を推進する本学独自の仕組みを活用するとともに、先端科学・社会共創推進機構等の研究支援組織による支援の下、若手研究者の多様性を尊重し、潜在能力を最大限に引き出す。

金沢大学では、金沢大学憲章に掲げる「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚した、揺るぎない未来ビジョン「志」を学内並びに社会に示したところである（令和4年5月）。

「志」では、地域と世界の2つの視点を互いに往還させながら、未来の課題を探求し克服する知恵「未来知」により社会貢献を果たすことを目標として掲げるとともに、研究・教育・経営の3つの機能についてあるべき姿を示している。そして、これら3つの機能が一体となって「志」として掲げる未来知により社会に貢献することを、本学が目指すビジョンとして提言した。

研究については、独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成を目指している。その実現に向けた研究戦略として、基礎・応用・融合研究の推進と、社会実装を想定した実証研究による研究成果を社会へと還元する仕組みの強化を謳うとともに、海外機関との連携や次世代研究者の育成等に重点を置いている。特に、若手研究者の育成・支援については、本学が推進する融合研究や実証研究の仕組みを活用し、博士課程学生から第一線で活躍する研究者までの一貫性ある支援の充実を進めているところである。

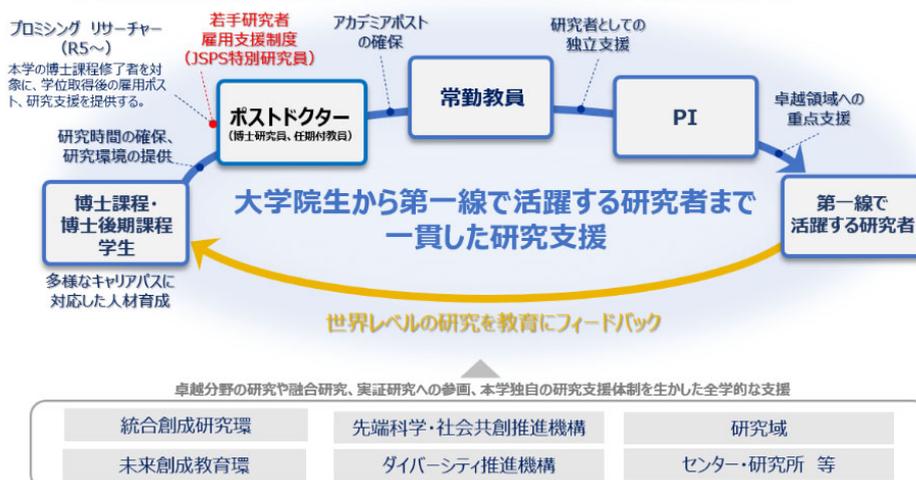
これらの未来ビジョンや研究戦略に基づき、特別研究員－PD等の育成・支援については、本学が推進する一貫した若手研究者育成プロセスの一環として位置づけ、その育成・支援を担っていく。

▶ 若手研究者の育成・支援



若手研究者の育成・支援の方向性

- ▶ 博士課程学生から第一線で活躍する研究者までの一貫通貫した支援を実施。
- ▶ 本学が有する卓越した研究分野や融合研究、実証研究を推進する仕組みを活用しながら、FSSI等の研究支援組織が中心となって、優秀なアカデミア人材の育成・確保を実現する。



予定する取組等

(1) 融合研究・実証研究の機会提供

- ・融合研究を推進し卓越領域を世界的研究拠点へと導く「統合創成研究環」や、大学と社会を繋ぎ社会実装の実現に向けた伴走支援を行う「未来知実証センター」等、本学独自の機能を持つ研究組織を活用しながら、異分野との研究交流や、社会との交流を促進する場を提供する。

(2) 研究支援・研究基盤の充実

- ・研究支援組織「先端科学・社会共創推進機構」に所属する研究支援者（URA）により、基礎研究から応用研究に至る全領域の研究支援（研究資金獲得、研究成果発信、産学官連携等の支援）を提供する。
- ・本学が有するコアファシリティの機能を有効活用し、若手研究者の自発的な研究活動を推進・支援するとともに、技術職員による技術支援を提供する。

(3) 女性研究者の育成

- ・金沢大学ダイバーシティ推進機構（令和4年4月設置）を中心に本学で展開する、女性研究者を対象とした各種の支援制度を活用しながら、女性研究者の研究活動を支援する。